



インタビュー

北欧音楽の最高峰トリオ、ドリーマーズ・サーカス

文：藤井真也

◆「北欧伝統音楽」を進化させた「21世紀の室内楽」。ドリーマーズ・サーカスとは？

Q 北欧伝統音楽をベースに、クラシック、ミニマル、エレクトロ、ジャズ、即興演奏と多彩なジャンルを自在に取り入れ融合させたサウンドと、時に叙情的に、時にダンスابلに観客の耳と心を鷲掴みにする豊かなメロディが何よりの魅力のドリーマーズ・サーカス（以下 DC）。伝統音楽を現代に再構築するようなこのスタイルは、結成時から考えていたもの？

A 「僕たちの音楽を多くの人が多様なジャンルの融合と感じてくれるのはその通りで嬉しい。でも最初から融合的な音楽を作ろうと考えていたのではない。2009年に3人が出会って以来、自分たちの自発的なエネルギーに導かれて追求していくうちに、自然にこうした音楽が生まれてきたのです」

Q メンバー3人、ルネはクラシック、アレはスウェーデン伝統音楽、ニコライはジャズ・ポピュラー音楽と異なる音楽背景を持っている。こうした3人が出会ったのは、もはや偶然ではなく、まさに必然だったのかも？

A 「2009年、3人があるジャムセッションで出会った瞬間、音楽の化学反応が一気に起きて DC が誕生した。曲の大半は自分たちの作曲。3人共同で作ることも。音楽は川のように流れ続けなくてはならない。古いスタイルを守るのではなく、新しい概念、変化を加えたオリジナルのアイデアで常に新たに挑戦していきたい。古い伝統音楽も、作られた当時はその時代の最新の音楽。僕たちの音楽も新鮮で現代的に受け止めてもらえることを願うが、そこに民族音楽、クラシック、ジャズ、ポピュラー、どんな音楽を感じてもらっても構わない。すべてが『ドリーマーズ・サーカス』の音楽なのだから！」

◆レオニー・ソニング音楽賞を受賞、『デンマーク弦楽四重奏団』との絆

Q ヴァイオリン担当のルネがクラシックの仲間と結成した、ある意味 DC の兄弟グループのデンマーク弦楽四重奏団（以下 DSQ）。クラシック作品、現代音楽、DSQ 編曲の北欧伝統音楽を境界なく取り上げてきた演奏活動が極めて高く評価され、音楽文化に国際的な功績を残した人物に贈られる歴史あるデンマーク最高のレオニー・ソニング音楽賞を、昨年初めてグループとして受賞した。これを、どのように受け止めている？

A 「作曲家ではストラヴィンスキー、ショスタコーヴィチ。指揮者ではカラヤン、バーンスタイン。ジャズではマイルス・デイビス、キース・ジャレット。歴代受賞者は数多くの偉大な音楽家たちばかり。受賞は本当に光栄なこと。しかし、DSQ、DC どちらもこれで何か変わるわけではなく今まで通りの活動を続けていくだけ。僕たちは全員が長年の友人で、一緒にライブやレコーディングをする機会も多く、演奏後はみんなでビールを飲みながら芸術、政治、食などの話題を本音で語り合う時間を持つのが恒例。こうした時間は人生において何よりも大切だ！」

◆クラシック音楽の境界を超えていく、指揮者ペッカ・クーシストとの共鳴

Q. フィンランドの指揮者・作曲家・ヴァイオリニストのペッカ・クーシストと DC の共演も話題だ。2028 年からは東京都交響楽団の首席指揮者にも就任が決定。彼もクラシック音楽の世界でその才能を輝かせているだけでなく、音楽の境界を超える挑戦を続けていて、DC と共鳴し合うのはまさに自然な流れ。ペッカはどういう音楽家？

A. 「指揮者、ヴァイオリニストとして世界中で絶大な人気を誇る彼は、伝統音楽への関心も高く、クラシック音楽との関係性もとても深く理解している。以前にはヴィヴァルディの『四季』を伝統音楽と融合させた編曲で共演して、この名曲に新たな光を当てることができた。今年の3月にはイギリスで、DC 編曲のベートーヴェン『交響曲第7番』をメインに、ペッカ指揮のスコットランド室内管弦楽団とコンサートツアーを行った。

彼の東京都交響楽団の首席指揮者就任はとても喜ばしいこと。いつの日か、DC とペッカ指揮のオーケストラとの共演が、東京で実現できるかも！」

◆デンマークで DC が北欧音楽フェスを主宰！

Q. デンマークのコペンハーゲンで、北欧各国からミュージシャン、バンドを招いて大規模な北欧音楽のフェスを企画・主宰しているというが、どんなフェスなのか？

A. 「コペンハーゲンの大規模な会場をフルに使って、北欧各国の尊敬するミュージシャンたちや魅力的なバンドを招待して、これまで2回「北欧音楽フェスティバル」を企画開催してきた。近年北欧では、僕たちの影響を受けて、あらゆる音楽ジャンルの境界を超えて革新的な音楽を生み出している若いミュージシャンたちが増えている。その流れはとても喜ばしい。でもその一方で、僕らも北欧の数多くの素晴らしいミュージシャンたちから、新たなインスピレーションを受けているのだ！」

コンサート、レコーディングに留まらず、映画、TV、舞台の音楽制作、さらにはデンマークのロスキレ市のアンセム _ (市歌) 作曲まで、ますます活躍の場を広げる DC。作曲家として、プレイヤーとして、そして人間としてお互いを尊敬し、信頼し合う3人。この緊密な絆があってこそ、DC の境界を超える素晴らしい音楽と、最高のインタープレイが生まれるのだ。
9月の日本公演が今から楽しみでならない！

